

ヴィクトリアマイル

第16回ヴィクトリアマイル(GI)優勝馬グランアレグリア



短距離女王が府中のマイルで魅せる

まさにレベルの違う走りです。4馬身差の圧勝。短距離女王は、やっぱり強かった。

前年のJRA賞最優秀短距離馬グランアレグリアは2021年、大阪杯から始動。自身初となる芝2000m戦への果敢な挑戦は、持ち味であるスピードが存分に発揮できない重馬場の影響もあってか、4着に終わった。

しかし良馬場なら違う。マイルなら負けるはずがない。その強さを信じるファンは、グランアレグリアを単勝1.3倍の断然人気に支持した。

前走の六甲Sを逃げ切っているクリスティがレースを引っ張り、ターコイズSなど重賞2勝の快足スマイルカナが2番手。この春は阪急杯を制し、高松宮記念2着から参戦の2番人気レシステンシアらが続く。縦長に伸びた馬群の中団を、グランアレグリアは抜群の手応えで追走した。

外を回って直線に向いても、クリストフ・ルメール騎手の手綱は抑えられたまま。周囲のライバルたちが懸命のスパートをかける中、馬なりで少しずつ上昇していく。残り300mで手綱を動かし始めると、徐々に加速を開始。残り200m過ぎに離れた内ラチ沿いで粘るレシステンシアを捉えると、鞍上がここでゴーサインを送る。またギアが上がる。「すごい加速。乗っていて気持ちよかった」とルメール騎手が振り返る末脚で、一瞬にして後続を突き放し、最後はランプリングアレーやマジックキャッスルらによる熾烈な2着争いを4馬身後方に従えてゴール。まさに1頭だけ異次元の走りだった。

グランアレグリアを管理する藤沢和雄調教師は、自身の持つ最多勝記録を更新する33度目のJRA・GI制覇。レース創設の2006年、第1回をダンスインザムードで制して以来、2度目の勝利となった名トレーナーは「直線で長い間、馬なりでしたし、いい競馬だったと思います」と満面の笑みで愛馬を出迎えた。

グランアレグリアはこれでGI・5勝目。古馬の芝マイルGIはこのヴィクトリアマイルと安田記念、マイルチャンピオンシップの全3レースだが、牝馬のみが可能な完全制覇を、史上初めて達成してみせた。



▲外からスパートのタイミングをうかがうグランアレグリア(帽色・赤・左)。

▶ルメール騎手とのコンビはここが10戦目。名パートナーに導かれてタイトルを手中にした。



第16回ヴィクトリアマイル(GI)

5/16 東京競馬場 1600m(芝・左) 曇・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝	5	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:31.0	①	⑨⑩
2	ランプリングアレー	牝	5	55	吉田 隼人	友道 康夫	4	⑩	⑪⑫
3	マジックキャッスル	牝	4	55	戸崎 圭太	国枝 栄	クビ	⑤	⑨⑭
4	ディアンドル	牝	5	55	団野 大成	奥村 豊	クビ	⑭	⑤⑭
5	シゲルピンクダイヤ	牝	5	55	和田 竜二	渡辺 薫彦	クビ	⑬	⑤⑭
6	レシステンシア	牝	4	55	武 豊	松下 武士	クビ	②	③⑫
7	ダノンファンタジー	牝	5	55	藤岡 佑介	中内田充正	クビ	⑨	⑭⑮
8	テゼル	牝	4	55	川田 将雅	友道 康夫	アタマ	④	⑪⑫
9	マルターズディオサ	牝	4	55	田辺 裕信	手塚 貴久	1 3/4	⑦	⑭⑮
10	クリスティ	牝	4	55	斎藤 新	杉山 晴紀	1/2	⑮	⑪⑫
11	サウンドキアラ	牝	6	55	松山 弘平	安達 昭夫	クビ	⑥	⑭⑮
12	レッドベルディエス	牝	5	55	石橋 脩	鹿戸 雄一	クビ	⑭	⑮⑯
13	リアアメリカ	牝	4	55	福永 祐一	中内田充正	アタマ	⑧	⑮⑯
14	テルツェット	牝	4	55	M.デム・口	和田正一郎	クビ	③	⑭⑮
15	スマイルカナ	牝	4	55	柴田 大知	高橋 祥泰	3/4	⑫	⑫⑯
16	アフランシール	牝	5	55	大野 拓弥	尾関 知人	アタマ	⑮	⑮⑯
17	ブルヴァール	牝	5	55	三浦 皇成	庄野 靖志	1 1/4	⑪	⑮⑯
18	イベリス	牝	5	55	酒井 学	角田 晃一	大差	⑯	⑬⑭

単勝 ⑥130円 複勝 ⑥110円 ⑥790円 ①210円 枠連(3-4) 1,330円
 馬連 ⑥-⑥3,620円 馬単 ⑥-⑥4,630円 ワイド ⑥-⑥1,550円 ①-⑥330円 ①-⑥5,080円
 3連複 ①-⑥-⑥8,460円 3連単 ⑥-⑥-①28,750円

ハロンタイム 11.9-10.8-11.6-11.7-11.6-11.2-10.9-11.3
 通過タイム 600m③34.3-800m④46.0-1000m⑤57.6-1200m⑥1:08.8-1400m⑦1:19.7

優勝馬 **グランアレグリア**
 2016.1.24生 父ディーフィンバウト 母タビッツフライ 母の父Tapit
 安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)サンデーレーシング